

令和4年度 第2回千葉県臨床検査技師会 血液検査研究班 研修会

日時：令和4年8月5日（金）～ 8月26日（金）

開催方法：Googleドライブによる録画web配信

テーマ：『血球形態標準化合同委員会の最近の動向』

日本臨床衛生検査技師会・日本検査血液学会）一骨髄幼若顆粒球・赤芽球の分類基準の改訂および細胞分類一致率の向上に向けてー（約70分）

ピー・エム・エル 第四検査部 血液学課 坂場 幸治 先生



2セッション中1個目のセッション

第2回千葉県臨床検査技師会_血液検査研究班_研修会

お待たせ致しましたweb研修会を開催します！
開催期間中はオンデマンド配信で、何回でもご視聴いただけます。

開催期間：8月5日（金）～8月26日（金）

テーマ
特別講演 血球形態標準化合同委員会の最近の動向
（日本臨床衛生検査技師会・日本検査血液学会）
～骨髄幼若顆粒球・赤芽球の分類基準の改訂および細胞分類一致率の向上に向けて～

◀特別講演 演者紹介▶

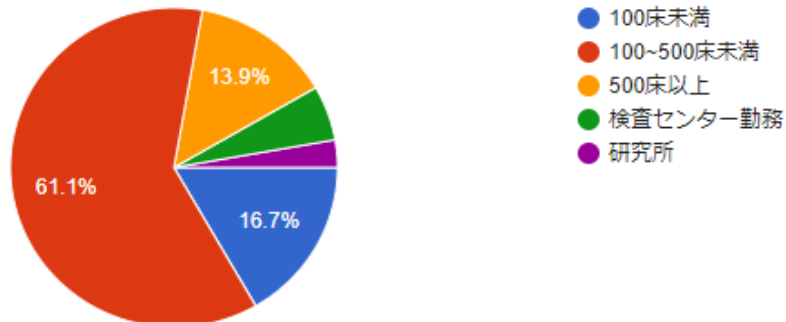


特別講演
坂場 幸治（ばんば ゆきはる）先生
現役職
・ピー・エム・エル 第四検査部 血液学課 顧問
・（社）日本臨床衛生検査技師会・日本検査血液学会
血液形態標準化ワーキンググループ副委員長

アンケート結果（回答 ～36件）

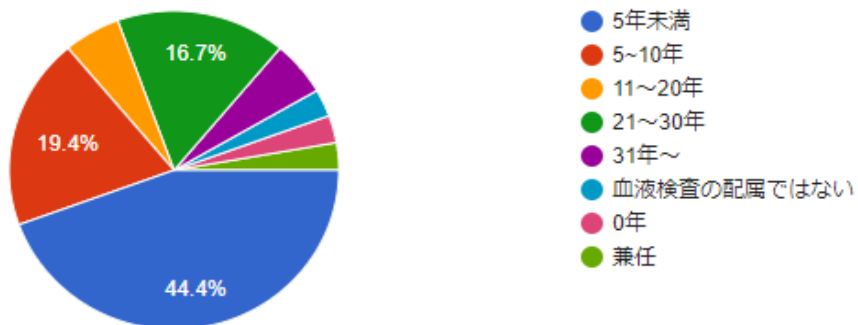
1. あなたの勤務先の病院規模はいくつですか？【必須】(1-7)

36 件の回答



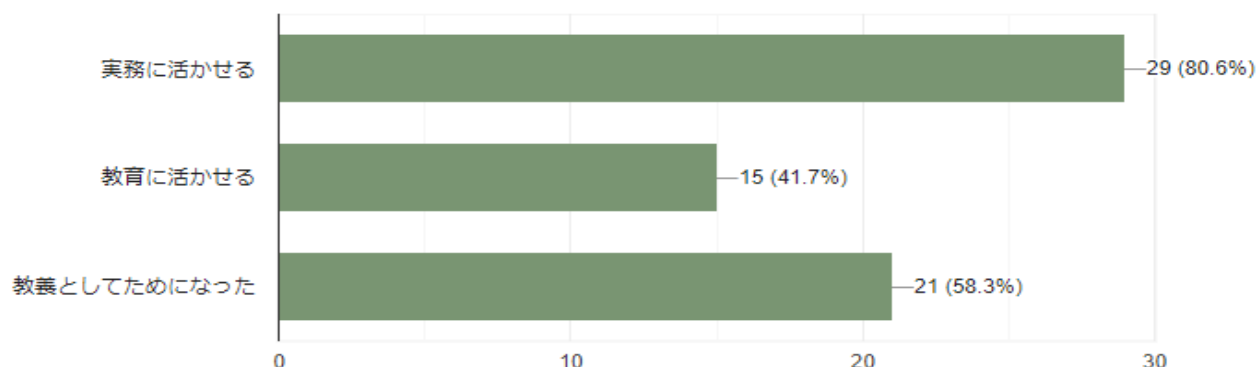
2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか？【必須】(2-7)

36 件の回答



3.研修会内容についてどのような印象をお持ちですか？(複数回答可)【必須】(3-7)

36件の回答



上記の理由をお聞かせください

15件の回答

明確な基準が画像とともに、目の前にあるのは非常に助かる。人間の判断基準は常に揺らぐから。

細胞分類において参考になると思った。

基礎は重要

分化段階の細胞の分類は毎回迷うことが多いので今回の講演でより理解を深めることができた。

血液像の見分け方には個人差があり、見分け方の標準化について理解できたため

日常業務で血液検査を行ってはいないが、分化形態の特徴を多数の画像と共に説明されて大変勉強になった。

大変勉強になりました。

分類における注意点を再確認できた

細胞分類の時に鑑別で注意する点が具体的で、スライドにてわかりやすく提示されていた事

形態の区別のポイントがよくわかった。

細胞分類をするにあたって参考になった。

検査室での細胞境界一致の資料として使える

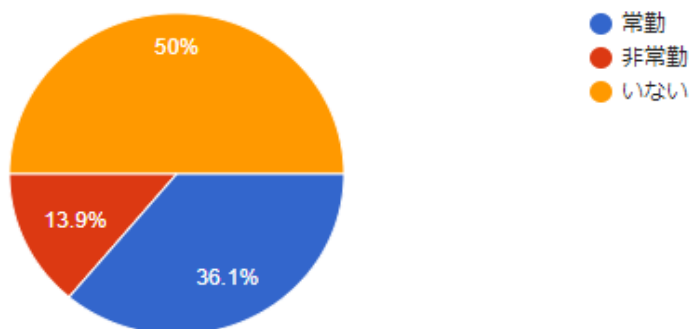
血液像の鏡検が業務に加わり日が浅いため、日々勉強している

分類の定義を明確に理解できた為

実際に判断に迷う時が、あったため、とても参考になった

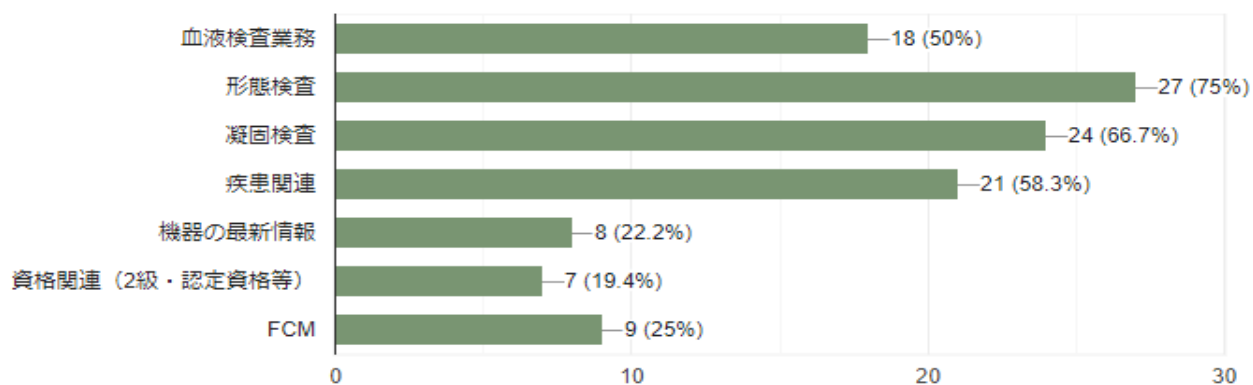
4.ご施設に血液内科を専門とされている医師は勤務されておりますか？【必須】(6-7)

36件の回答



5.今後の血液研修会の内容について、一番関心が高いものはなんですか？（複数回答可）【必須】(5-7)

36件の回答



6.今後、希望する研修会のテーマ(6-7)

4件の回答

骨髄腫のMRD解析について、もう一度聴きたいです。

リンパ節、骨髄生検の症例ごとの見方。
染色体検査特にFISHの結果の考え方。

綺麗な標本の作り方

顕微鏡動画で学びたいです

7.日常業務で困ったこと(7-7)

3件の回答

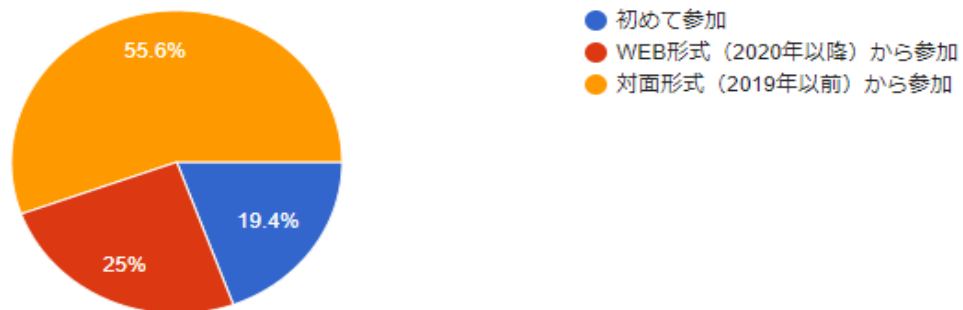
末梢血の分類カウントで、抗がん剤の影響による核の異常形態、例えば後骨髄球様でクロマチン凝集している分葉球は何に分類するのが妥当か、とか。

血液像を引くときに3枚作成するのですが1枚には幼弱細胞が見られるが他の2枚には見られないといったように再現性がイマイチとれません。標本のばらつきは多少は仕方ないものでしょうか。また、どの程度までのバラツキであれば許容されますでしょうか。

不明な細胞の解説が期待できない

1.千臨技 血液 WEB研修会の参加頻度【必須】(1-9)

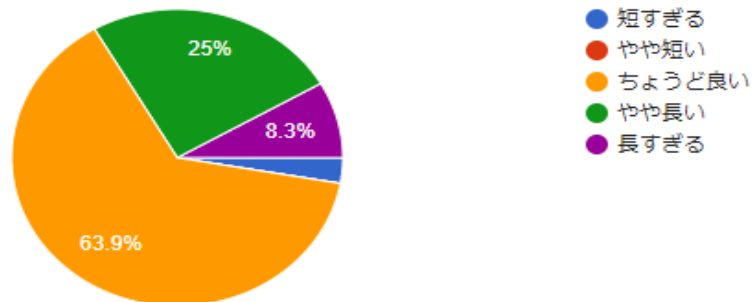
36件の回答



- 初めて参加
- WEB形式(2020年以降)から参加
- 対面形式(2019年以前)から参加

2.研修会の長さ【必須】(2-8)

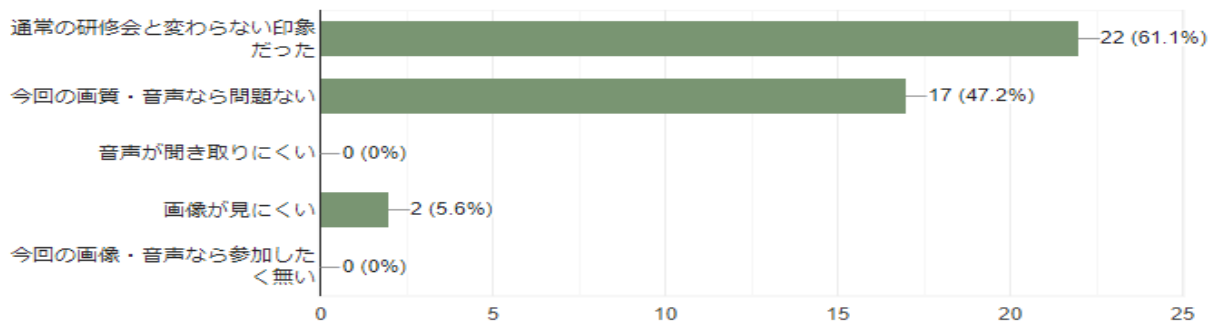
36件の回答



- 短すぎる
- やや短い
- ちょうど良い
- やや長い
- 長すぎる

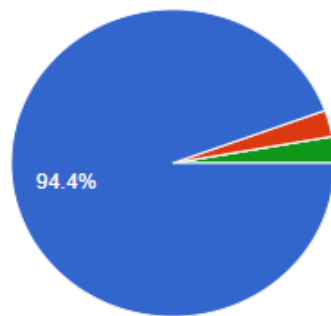
3.画像・音声などに問題はありませんでしたか?【必須】(3-8)

36件の回答



4. 今までの研修会（対面式）と比較した参加しやすさ【必須】（4-8）

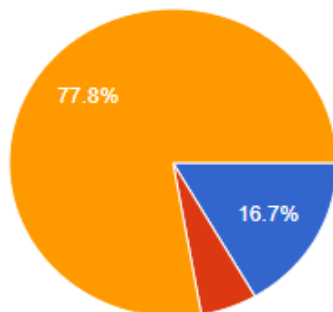
36 件の回答



- 参加しやすい
- 普段（対面式）と変わらない
- 参加しにくい
- 先延ばしにして忘れちゃう

5. 研修会はどの形式が一番ですか【必須】（5-8）

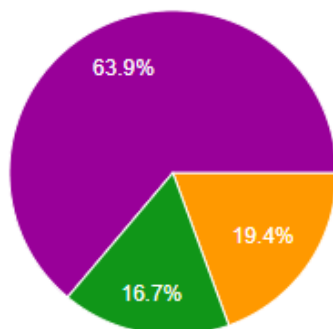
36 件の回答



- 対面形式（2019年以前の主流）
- LIVE配信（ZOOMなど）
- オンデマンド配信（2週間～1ヵ月）

6. オンデマンド希望配信期間【必須】（6-8）

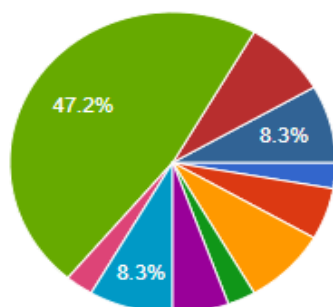
36 件の回答



- 1日
- 1週間
- 2週間
- 3週間
- 1ヵ月

7. LIVE配信（ZOOMなど）の希望日時【必須】（7-8）

36 件の回答



- 月～木曜日 17:30～
- 月～木曜日 18:00～
- 月～木曜日 19:00～
- 金曜日 17:30～
- 金曜日 18:00～
- 金曜日 19:00～
- 土曜日：午前
- 土曜日：午後

8.血液検査研究班になにかご意見ございますか？(8-8)

8件の回答

忙しいところ準備していただき、ありがとうございます。是非ポスターを配布して下さい。分類の統一は難しいですね。

過去に対面で行った内容の配信化でも良いので、初心者がすぐに血液検査に参入できるような内容を行っていくと良いと思います。配信期間が過ぎた後でも過去のものを見直して復習できるようなシステム（eラーニング）など充実させて頂けると、新人教育や学び直しなどに使えて教える側・教わる側の負担が減りスキル伝授が今まで以上に円滑になると思います。

貴重なご講演ありがとうございました。

千葉県の血液検査技術・知識取得の向上を期待しています

設問1：前赤芽球のクロマチン構造が無顆粒となっていますが、細顆粒の間違えかと思いましたが、無顆粒でもいいのでしょうか？

いつもためになる内容をありがとうございます。

尿沈渣アトラスのように、ぜひ顕微鏡動画をお願いします

いつもありがとうございます。